

第236回

柏崎しんきん地区内経済指標

(平成27年11月)

 柏崎しんきん

(平成8年4月 創刊)

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,460	-0.68	-0.17	4,212	0.62	-0.09
東部地区	14,222	0.03	0.08	5,782	0.97	-0.08
西部地区	10,294	-0.96	-0.09	4,037	-0.12	-0.09
駅南地区	6,303	-0.25	-0.03	2,838	1.21	0.31
半田地区	3,704	0.13	0.08	1,421	1.57	0.21
横山地区	5,462	-0.96	0.10	1,981	1.38	0.45
茨目・田尻地区	7,164	1.17	0.01	2,583	2.45	-0.03
荒浜地区	4,849	-1.56	-0.10	1,998	0.05	-0.14
その他地区	18,598	-2.54	-0.23	7,021	-0.67	-0.17
西山町地区	5,775	-2.48	0.03	2,101	-1.31	0.09
高柳町地区	1,557	-4.12	-0.51	747	-3.11	0.00
柏崎市計	87,388	-1.03	-0.07	34,721	0.35	-0.01
刈羽村	4,753	-0.89	-0.18	1,577	-0.12	-0.06
小国地区(長岡市)	5,640	-2.59	-0.10	2,103	-0.47	-0.09
出雲崎町	4,686	-1.55	-0.12	1,762	0.05	-0.05
合計	102,467	-1.14	-0.08	40,163	0.27	-0.02

(資料出所：柏崎市、各市町村)

○地域全体の人口動向

前年同月比は、柏崎市で▲917人(▲1.03%)、刈羽村で▲43人(▲0.89%)、小国地区(長岡市)で▲150人(▲2.59%)、出雲崎町で▲74人(▲1.55%)、全体で▲1,184人(▲1.14%)となっている。

前月比は、柏崎市で▲62人(▲0.07%)、刈羽村で▲9人(▲0.18%)、小国地区で▲6人(▲0.10%)、出雲崎町で▲6人(▲0.12%)、全体で▲83人(▲0.08%)となっている。

○世帯数

前年同月比は、柏崎市で+123世帯(+0.35%)、刈羽村で▲2世帯(▲0.12%)、小国地区で▲10世帯(▲0.47%)、出雲崎町で+1世帯(+0.05%)、全体で+112世帯(+0.27%)となっている。

前月比は、柏崎市で▲6世帯(▲0.01%)、刈羽村で▲1世帯(▲0.06%)、小国地区(長岡市)で▲2世帯(▲0.09%)、出雲崎町で▲1世帯(▲0.05%)、全体で▲10世帯(▲0.02%)となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎管内	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎管内	新潟県	柏崎管内	新潟県
月間有効求人	1,703		5.05		-2.29	
月間有効求職者	1,343		-5.02		-5.02	
月間有効求人倍率	1.27	1.20	0.12*	0.07*	0.04*	0.02*

*印は差し引き計算

(資料出所：柏崎公共職業安定所)

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況(パートを含む全数)で、月間有効求人数が1,703人で、前年同月比+82人(+5.05%)増加している。前月比▲40人(▲2.29%)と減少している。

月間有効求職者数は、1,343人で、前年同月比▲71人(▲5.02%)、前月比▲71人(▲5.02%)といずれも減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.27倍と前年同月比+0.12倍、前月比+0.04倍と改善傾向にあり、県平均1.20倍と比べると前年同月比+0.07倍となっている。

また、新規求人・求職状況(パートを含む全数)については、月間新規求人数が647人と前年同月比+78人(+13.7%)、月間新規求職者数が325人と前年同月比▲4人(▲1.2%)となった結果、月間新規求人倍率は1.99倍となり、前年同月の1.73倍と比べて0.26ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成27年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	20	-4	-8	215	1
共 同 住 宅	4	3	2	10	-1
事 務 所	0	-3	0	6	-5
作 業 所・工 場	1	1	-1	9	6
営 業 建 物	0	0	-1	8	-8
公 共 建 物	0	-1	0	1	-1
そ の 他	4	-6	0	62	-13
合 計	29	-10	-8	311	-21

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、29件(前年同月比▲10件)。工種別内訳の増減(前年同月比)は、共同住宅で+3件、作業所・工場で+1件と増加している反面、一般住宅(併用)で▲4件、事務所で▲3件、公共建物で▲1件、その他で▲6件となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が25件、一般住宅(併用)20件における市内・市外施工業者別の確認申請は、市内施工業者が8件(新築6件・増築2件)、市外施工業者が12件(新築11件・改築1件)となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、千kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	67,008	1.24	-0.19	16,269	-2.96	7.15
電 力	9,447	-2.32	1.46	35,762	2.08	-3.72

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比+827口(+1.24%)と増加しているが、前月比は▲133口(▲0.19%)と減少している。電力においては、前年同月比▲225口(▲2.32%)と減少しているが、前月比は+136口(+1.46%)と増加している。

使用量は、電灯が前年同月比▲497千kwh(▲2.96%)と減少しているが、前月比は+1,087千kwh(+7.15%)と増加している。電力においては、前年同月比+729千kwh(+2.08%)と増加しているが、前月比は▲1,382千kwh(▲3.72%)と減少している。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	935,509	-4.61	36.98	684,890	0.37	1.55
営 業 用	190,006	2.44	30.34	117,999	4.35	2.02
工 業 用	729,401	5.12	1.29	111,425	8.86	1.24
官 公 学 校 用	294,136	-12.85	66.00	71,184	1.17	0.41
そ の 他				28	-58.82	40.00
合 計	2,149,052	-2.20	24.51	985,526	1.78	1.49

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計で前年同月比▲48,562m³(▲2.20%)、前月比+423,114m³(+24.51%)となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比は営業用・工業用で増加し、家庭用・官公学校用で減少している。前月比では全ての用途で増加している。

一方、水道給水量は、前年同月比+17,323m³(+1.78%)、前月比+14,495m³(+1.49%)となっている。用途別内訳は、前年同月比では、その他を除く全ての用途で増加し、前月比では全ての用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	80,168	-0.46	21.42	82,655	-0.42	-6.62
西 山	38,879	0.14	-8.51	35,078	-0.75	-9.86
米 山	19,224	0.60	-13.03	18,089	-0.52	-10.93
合 計	138,271	-0.14	5.84	135,822	-0.52	-8.07

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の高速道路出入口での交通量は、入口が全体で前年同月比▲199台(▲0.14%)と減少し、前月比は+7,641台(+5.84%)と増加している。

出口は、全体で前年同月比▲714台(▲0.52%)と減少し、前月比でも▲11,931台(▲8.07%)といずれも減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
11 月 末	379,569	1.26	-1.02	147,458	1.22	-0.77
11 月 平 均	381,430	2.40	0.07	147,156	1.73	-0.86

預金は、11月末残高が前年同月比+4,749百万円(+1.26%)と増加し、前月比は▲3,930百万円(▲1.02%)と減少している。平均残高は、前年同月比+8,956百万円(+2.40%)、前月比+271百万円(+0.07%)といずれも増加している。

貸出金は、11月末残高が前年同月比で+1,789百万円(+1.22%)と増加しているが、前月比は▲1,149百万円(▲0.77%)と減少している。平均残高についても、前年同月比は+2,514百万円(+1.73%)と増加しているが、前月比では▲1,280百万円(▲0.86%)と減少している。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	24,122	31.04	28.78
交 換 金 額	20,444	67.39	49.37
不 渡 り 手 形 枚 数	17	88.88	142.85
不 渡 り 手 形 金 額	12	210.96	553.46

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比+5,715枚(+31.04%)、前月比+5,391枚(+28.78%)、また、交換金額は、前年同月比+8,231百万円(+67.39%)、前月比+6,758百万円(+49.37%)となっている。なお、不渡手形は17件・12百万円発生している。

法的整理(負債1,000万円以上)による県内企業倒産は、3件(前年同月3件・前月4件)、負債総額4億円(同4.8億円・同1.1億円)となっている。地区別では下越地区で3件(新潟市2件・南蒲原郡1件)発生している。業種別では製造業・小売業・サービス業でそれぞれ1件発生しており、倒産原因の状況は販売不振1件・経営多角化の失敗1件・その他の経営計画の失敗1件となっている。

政府による地方創生策や中小企業振興策が重視されるなか、金融機関の支援スタンスは大きく変わらないと見込まれるが、円安に伴う原材料価格、輸入価格の高止まりや公共工事の低迷、中国の成長鈍化などを踏まえれば、年末に向けての倒産動向は楽観視できない状況にある。